

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		地域支援センターまなびや					公表日	令和8年2月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子どもたちが走りまわって遊べるスペースや運動や作業ができる広い多目的ホームが確保されている			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準は満たしている			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		生活空間についてはこどもたちにはわかりやすく使いやすく、バリアフリーになっている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間は日当たりもよく、個室もあり、子どもたちの活動に合わせた空間作りを行っている			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個室や場所を使用することも可能であり、プライベート空間としても利用している			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルは職員に意識させており、振り返りシートを記入しながら支援に対する改善を行っている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者への評価表については結果を職員にお伝えしながらその内容を職員会議等で共有している			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議やケース会議等で意見をあげながら業務のあり方等を話し合っている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者評価委員会を法人で行っており、評価結果を公表し助言をいただいている			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な研修には職員は参加している			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムは公式ホームページで公表を行っている			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントは適宜行いながら保護者の意見も取り入れながら計画に反映させている			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全ての記録や支援計画等は全職員が閲覧できる環境を整えており、ケース会議等で検討されている			
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画は職員間で共有しながら計画に沿った支援を行っている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		子どもの状況記録等はアセスメントシートでより具体的に記録し確認を行っている			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		担当者会議等で支援内容も具体的に示しながら長期・短期での支援内容を設定している			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動に関しては全職員が一丸となってプログラムを作成したくさんの意見や立案の元で行っている			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	活動に関しては季節に合わせてマンネリ化しないよう色々な情報を元に工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	子どもの状況を確認しながら個別や小集団を組み合わせ支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	事前に職員会議等で打ち合わせを行い、職員が全員理解したうえで支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	職員会議や個別検討会等で振り返りを行ったり次へのステップの情報共有を図っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎日の記録を保護者に公開しながらコメントをいただき支援の検証改善に努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	適宜モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	担当者会議は児発管は必ず参加し、職員に状況説明を行っている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	子どもが医療機関へ通院している場合は医者とリハビリ等の担当と連携して情報共有している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	個別支援会議や担当者会議等は子ども園や学校で行い必ず情報共有を図っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	就学時には学校との連携を図り、事前に保護者に同意をいただき、情報提供を行いながら理解を図っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	研修や個別検討会等で連携をとり情報共有を図っている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	地域交流で他児との活動や地域活動（紙芝居等）に参加している	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	保護者とは常日ごろから連絡をとりながら共通理解を深めている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	フリー参観を取り入れ、保護者に自由に参画いただきながら支援内容等情報提供を行っている		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	担当者会議等で保護者には説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	支援計画を作成する際は色々な情報を元にこどもの最善の利益の優先を前提に確認する機会を設けている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	支援計画は保護者へ説明するとともに同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	相談や面談は必要に応じて適宜行いながら支援を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者会、フリー参観、懇親会等を開催しながら交流する機会を設けている	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	子どもや保護者からの相談する窓口を設けており、適宜迅速適切に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	毎月の行事予定やSNS等で情報を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報の取扱いについては保護者からの同意を得て十分に留意している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	記録やSNS等を活用したり、時には家庭訪問を行って配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	地域住民に行事等の告知を行ったり、招待している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	訓練はマニュアル通り実施しており、消防職員に訓練依頼を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	非常災害を想定した訓練を行いながら定期的に職員会等で話し合いを行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	服薬依頼書や持病等の状況確認は常に行いながら確認を行っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーがある児童に関しては保護者に確認を事前にもらい対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	マニュアルに沿って訓練や研修などを行い支援を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全確保を行いながら事故や怪我がないように努めているが万が一の場合の緊急連絡先として保護者にも理解と協力を求めている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハット報告書等を作成し検討会議等を設けて職員に周知している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止委員会等で研修を行いながら適切な対応に取り組んでいる	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束や虐待防止委員会等で議題にあげ支援計画等に反映させている	